

6/24
(金)

「怒る」と「叱る」のちがいは？

～上野地区公民館 家庭教育学級 子育て意見交換会～

伊予幼稚園の保護者12名の参加のもと、大人向けの読み聞かせを聞いたり、「子どものほめ方しかり方」について話を聞いたりしました。その後、3つのグループに分かれて「子育てで楽しかったこと、つらかったこと、講話について思ったこと」について話し合いました。



「叱る」というのは、「怒る」とは違います！

感情をぶつけて「怒って」しまうと、子どもは「お父さんやお母さんは怖い…」とってしまうだけでなく、親も「また怒ってしまった…」と後悔してしまいます。「叱る」というのは、「そうするとうまくいかないよ。」と上手にしつけることです。



【参加者の意見・感想】より

「叱る」と「怒る」の違い。子どもにいつも怒ってしまうことが多いので、少し考えて、怒るのではなく、きちんと叱るように気を付けようと思います。



こういう気軽に参加できる学級会が定期的であればいいなと思いました。



いろんな意見を聞くことができ、勉強になりました。今日から「こうしよう」と前向きに子育てを考え直す時間になりました。



子育て中の「こまったな!」「どうすればいいの?」を地域子育て支援コーディネーターに相談してみませんか

こんなときはまかせてね!

- どこに相談したらよいか分からない…
- 近くに頼ることができる人がいない
- 子育てに疲れて「イライラ」話を聞いてほしい
- どんな子育てサービスが利用できるか知りたい



利用者支援事業相談窓口

相談者と一緒に考え、皆様の気持ちや生活に寄り添っていく役割を担います。内容に応じて子育て関連機関に繋がります。また、紹介先に同行することも可能です。



あなたの話しやすい方法で話せます。相談時間は事前予約ができます。(月～金曜日 年末年始を除く 9時から15時30分)

- ★電話相談 ☎089-982-1119 (直通電話) 伊予市役所子育て支援課
- ★相談室で相談 伊予市役所内相談室でゆっくり相談できます
- ★子ども総合センター 伊予市総合保健福祉センター2階 ☎089-989-6226
- ★出張相談 ●伊予市児童センター「みんくる」 ●子育て支援拠点「あおぞら」 ●伊予市児童館「あすなろ」

2022年12月号
発行：伊予市家庭教育・子育てサポートグループ

第30号

ほのほの



子育てがんばっています!

我が家がバスケ一家となって、もう10年ちょっと。
今年も三姉妹のバスケに大忙し。毎日三人と全力で向き合っています。
三人が一生懸命頑張る姿に、お父さんもお母さんも頑張ろう!と励まされています!!
支えてくれる家族や友達、先生、ご近所の人、みんなに感謝してこれからも仲良く過ごそうね。

父 母：重岡 亮、真美
子 ども：重岡 楓美、希海、花澄 (下吾川)

伊予市家庭教育・子育てサポートグループ

連絡先 ☎982-5155 FAX 982-5156
〒799-3193 伊予市米湊820 (伊予市教育委員会 社会教育課内)

子どものSOSに気づいたら

SOSのサインは、さまざまです

- 学校に行きたくない
- イライラしてしまう
- 集中できない
- からだの調子がすぐれない
- なかなか眠れない
- 朝おきられない
- 自分を傷つけてしまう
- など...
- コロナのことを考えて嫌な気持ちになる



- サインに気づいたおとなも、焦ったり、困惑したりするかもしれません
- いろいろな考えが浮かぶかもしれません
- その前に、いちばん大切なことは、**まず、こどもの話を聴く**ことです

1 聴くことってどうしたらいいの...?

困っていることがあったら
ひとりで悩まず相談してね

と伝えても、なかなか話してもらえないこともあるかもしれません...

べつに...

大丈夫...

相談するのは、けっこう大変

「相談してね」と言われても...



相談には多くのプロセスがあり、悩んだり困ったりしているときほど、そのハードルが高くなります

こどもだってわからない

どうしたらいいかよく分かりません

話してもどうにもならないことだってある

それをかかんがえるのはむずかしい



なにがふあんなのかがわからない

わからなくて困ってるから教えてほしいです
それに相談するのは難しいから手伝ってください

2 聴くときに心がけることはこれ!

- プライバシーの保たれた、静かで安心できる場所を用意する
- 率直に、心配していることを伝える
- 誘導しないで、オープンに尋ねる
- 最近なんとなく元気がないように見えるよ
- どんな気持ちなの?
- 評価や解決の前に、こどもの体験を共有する
- もう少し教えて
- それってどんな感じなの?
- こどもの力と一緒に気づく
- そういうとき、どうしてる?
- それってどんな風に役立ってる?



3 子ども達が求めていること

話を聴いてくれるときは...

- 最後まで静かに話を聴いてほしい (小学3年生/女)
- もっと真剣に聴いてほしい (中学3年生/男)
- 嫌がらないで話を聴いてほしい (小学3年生/男)
- お話を聴いてといったときにならぬ聴いてほしい (小学1年生/女)

接してくれるときは...

- 優しくしてほしい (小学2年生/女)
- キレる喋り方をしてほしい (小学6年生/男)
- 難しい言葉を使わないでほしい (小学1年生/男)
- スマホ見ないでほしい (小学4年生/女)

尊重してほしいな

- もっとほめてほしい (小学1年生/女)
- 自分の意見を聞き入れてくれないから。その部分を直してほしい。 (小学6年生/男)
- 人の物差しを勉強だけにしないでほしい。勉強や運動する事を押し付けられるのがうんざり。 (中学1年生/男)

時間を共有してほしいな

- はやくかえってきてほしい (小学1年生/女)
- もっと家にいてほしい。 (小学2年生/男)
- いっしょにいる時間がほしい (小学3年生/男)
- 一緒に遊んでほしい (小学1年生/女)

「ちょっと話してみませんか？」 詳しくは、裏面左下の利用者支援事業相談窓口へ。



☆ リラックスして気軽に相談してね。

☆ 秘密にするからなんでも気軽に話していいよ。

例

- 友達づきあいが上手にできてないようで心配だなあ。
- ばい菌扱いされて悲しい思いをしたみたい。
- 朝起きても学校に行きたくないって言うだけ...

子育てについて考えてみよう

サポートグループ
スタッフの声

子どもに寄り添った子育てをすべきだったなあ

子ども一人ひとりに寄り添った子育てをしたいものです。子どもは活発な子、おとなしい子、じっくり考える子、さまざまです。私の子どもは左利きでしたが、右利きに矯正させました。また、度胸をつけるために子どもの意思に関係なく剣道を習わせました。何十年も前で時代が違うとはいえ、今は後悔しています。



コロナ禍だからこそ基本に沿った子育てを

コロナ禍で親も子も強いストレスを感じながら生活していますが、次の3つを基本として子育てをしてみましょう。

また子どもが出す小さなSOSを見逃さないために、月に一度は「家族会議」を開いてはどうでしょうか。

- 01 子どもの良いところを見つけ、伝え、励まし、自信を持たせ、やる気を育ててあげましょう。
- 02 親がモデルとなって、「してはいけないこと」を責任を持って教えましょう。
- 03 家族の一員としての役割を子どもに持たせましょう。

